

慈恩寺 Times

第11号

【発行】

慈恩寺国史跡指定推進委員会

【発行日】

平成26年10月17日(金)

【問合せ・ご意見等】

寒河江市 生涯学習課歴史文化係

TEL:0237-86-8231

E-mail:shogaku@city.sagae.yamagata.jp

祝 慈恩寺旧境内 正式決定！

10月6日 官報告示

平成26年10月6日発行の『官報』にて「慈恩寺旧境内」の史跡指定が告示されました(文部科学省告示第137号)。

告 示		
○文部科学省告示第百三十七号 文化財保護法(昭和二十五年法律第二百四十四号)第百九条第一項の規定により、次の表に掲げる記念物を史跡に指定したので、同条第三項の規定に基づき告示する。 平成二十六年十月六日 文部科学大臣 下村 博文		
名称	所在地	地域
慈恩寺旧境内	山形県寒河江市大字慈恩寺字ヤマ	六九九番九、六九九番一〇、六九九番一一、六九九番一二、九四〇番一、九四〇番二、九四〇番三、九四〇番四、九四〇番九、九四〇番一〇、九四〇番一一
同 字 鬼 越	以下、省略	一八番、一八番一、一八番四、一八番五、一八番七、二七番、二七番四、三三番、三三番一、三三番六、三三番七、三三番八、三七番一、三七番二、三七番七、三七番八、三七番九、三七番一〇、三七番一七、三七番一八、三七番一九、三七番二〇、三七番二一、三七番二二、三七番二三、三七番二四、三七番二五、三七番二六、三七番二七、三七番二八、三七番二九、三七番三〇、三七番三一、三七番三二、三七番三三、三七番三四、三七番三五、三七番三六、三七番三七、三七番三八、三七番三九、三七番四〇、三七番四一、三七番四二、三七番四三、三七番四四、三七番四五、三七番四六、三七番四七、三七番四八、三七番四九、三七番五〇、三七番五一、三七番五二、三七番五三、三七番五四、三七番五五、三七番五六、三七番五七、三七番五八、三七番五九、三七番六〇、三七番六一、三七番六二、三七番六三、三七番六四、三七番六五、三七番六六、三七番六七、三七番六八、三七番六九、三七番七〇、三七番七一、三七番七二、三七番七三、三七番七四、三七番七五、三七番七六、三七番七七、三七番七八、三七番七九、三七番八〇、三七番八一、三七番八二、三七番八三、三七番八四、三七番八五、三七番八六、三七番八七、三七番八八、三七番八九、三七番九〇、三七番九一、三七番九二、三七番九三、三七番九四、三七番九五、三七番九六、三七番九七、三七番九八、三七番九九、三七番一〇〇
		以下、省略

▶官報告示(『官報』号外第221号を抜粋、一部改変)

この官報告示をもって、慈恩寺が国史跡に正式決定されました。決定された詳細は下表のとおりです。本山慈恩寺並びに史跡内地権者の皆様、及び関係者の皆様には多大なるご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今後は、「保存管理計画」や「整備計画」等を策定し、史跡の保存・活用を図っていきます。各計画策定の際は、市・有識者・地元慈恩寺代表者等で委員会を組織し、多様な意見を取り入れていきます。

国史跡・慈恩寺旧境内は「我が国の仏教信仰を知る上で極めて重要である」と評され、日本史の正しい理解に不可欠であり、その内容は一般的な東北地方の歴史観に一石を投じるものです。日本の宝として史跡価値を正しく理解し、市を挙げて全国に誇れる史跡にしていきましょう。



◀ 国史跡「慈恩寺旧境内」 上空からの写真(南から撮影)

名称	慈恩寺旧境内
所在地	寒河江市大字慈恩寺地内
面積	446,424.25平方メートル
概要	鳥羽天皇の御願寺と伝えられる東北地方を代表する寺院境内地で、江戸時代には3ヵ院48坊からなっていた。江戸時代に復興した堂社と、院坊の屋敷地のたたずまいは、その背後を取り巻く城館群や旧境内地の北端近くに存在する慈恩寺修験の行場とともに、旧境内の様相を良好にとどめている。 我が国の仏教信仰の在り方を知るうえで、極めて重要である。

慈恩寺国史跡 指定までの道程

達成



- ・学術的裏付け調査
- ・総合報告書作成作業
- ・指定予定地確定
- ・指定予定地内 地権者同意
- ・総合報告書 完成
- ・文化庁へ 指定具申書提出
- ・文化庁が 文化庁へ諮問
- ・文化庁が 文化審議会へ諮問
- ・文化審議会が文部科学大臣へ史跡指定答申
- ・文部科学大臣による 国史跡指定 (官報告示)



慈恩寺国史跡指定記念講演会 10月26日(日)午後1時30分～

国史跡指定の正式決定を受け、文化庁・佐藤主任文化財調査官を講師に迎え記念講演会を開催します。史跡「慈恩寺旧境内」の魅力や今後の展望、そして指定の意義についてお話をいただきます。

参加費は無料ですが、事前申込が必要です。多くの皆様のお越しをお待ちしております。詳細は右記のとおりです。

◇日時／平成26年10月26日(日)
午後1時30分～

◇会場／ホテルサンチェリー(寒河江市本町1-2-23)

◇講演／「史跡 慈恩寺旧境内 指定の意義」

文化庁記念物課主任文化財調査官

佐藤 正知 氏

◇定員／100名(申込先着)

◇申込・問合せ／寒河江市教育委員会 生涯学習課歴史文化係

☎0237-86-8231

※寒河江市ホームページから電子申請による申込も可能です。



▲古絵図を片手に史跡内を散策

9月28日に、寒河江さくらんぼ大学ふるさと再発見学部講座「ふるさとのイベントを知る」が開かれました。講座では同日開催の「慈恩寺彼岸花俳句大会」をはじめ、現在注目される慈恩寺について現地研修を行いました。講座の中では、市教委職員を講師に「国史跡 慈恩寺を歩く」と題し、史跡指定範囲内の散策も行われ、江戸時代の慈恩寺山内を描いた古絵図をもとに、仁王堂坂く本堂境内く中世城館群を歩きました。古絵図と比較しながら実際に史跡内を歩くと、約300年前の慈恩寺旧境内の姿が良好に残されていることを実感できます。今は無くなった堂舎なども平場・礎石等がよく残されており、参加者は地形なども注意深く観察しながら往時の慈恩寺の姿に思いを馳せていました。史跡として何を守り、どのように活用していくかを考える良い機会となりました。

国史跡「慈恩寺旧境内」を
歩いて体感

【お知らせ】

寒河江さくらんぼ大学歴史学部④ 公開講座

「東北の仏教センター 慈恩寺と平泉を知る」

＜一般聴講生募集について＞

東北地方を代表する仏教・文化の拠点である慈恩寺と平泉についてお話をいただきます。

本講座は寒河江さくらんぼ大学受講生以外も聴講できますのでお気軽にお越しください。詳細は下記のとおりです。

◇日時／11月8日(土)
午後1時30分～午後3時30分

◇会場／市文化センター・中公ホール
(寒河江市大字西根字石川西333)

◇講師／岩手県立大学 教授 誉田 慶信 氏

◇参加料／1人500円

◇申込／市文化センターに参加料を添えて申し込んで下さい。

◇問合せ／市文化センター ☎0237-86-5111

9月27・28日の2日間限定で、宝蔵院・華蔵院・最上院の本堂・庭園等の公開事業が行われました。これは、市郷土館特別展「慈恩寺三カ院を巡る」(10/13で終了)に合わせ市教委主催で行われたもので、三カ院の一般同時公開は史上初の試みでした。2日間で延べ約1800人もの見学者が訪れ、通常はなかなか見ることができない三カ院を堪能していました。彼岸花が最盛期を迎える中、普段訪れる慈恩寺とは違う一面を垣間見、その奥深さに触れることができた2日間でした。

大盛況!!
慈恩寺三カ院公開



華蔵院本堂内公開の様子



最上院庭園(本堂内から)

寒河江市ホームページ上に「慈恩寺 Times」バックナンバーを掲載中!

慈恩寺 Times

検索